

科目		単位 (時間数)	開校時期	講師名 (職名) (時間数)	
健康教育技法		1 (30)	1 学期	① 教育主事 (助産師) (5)	② 教員 (助産師) (11)
				③ 院外講師 (助産師) (2)	④ 院外講師 (助産師) (4)
				⑤ 院外講師 (臨床心理士) (8)	
目 標					
健康教育の原理と技法を理解し、女性の一生を通しての性と生殖に関わる健康問題について、助産の実践に必要な相談・教育・援助技術の基礎的技術を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1 (5月)	2	健康教育の理論、技法	1) 健康教育とは 2) 健康教育の課題 ・健康教育の歴史的変遷 ・これからの保健指導 ・個別健康支援プログラムの必要性 3) 保健行動モデル ①保健行動の定義・分類 ②セルフケア行動とコンプライアンス行動 ③保健行動のモデル 宗像のシーソーモデル ヘルス・ビリーフ・モデル プリシード-プロシードモデル、P/W モデル 4) ヘルスプロモーションの考え方 ①ライフスキル ②ヘルスプロモーションのライフスキル	講義	①
2 (5月)	2	健康教育の実際	1) 健康教育の基礎理論の活用 ①小集団形成過程の理解 (形成期-混乱期-規範期-活動期) ②リーダーとリーダーシップスタイル 2) 健康教育と保健指導の形態 個人指導と集団指導	講義	
			3) 集団指導に活用される討議法 ・集団討議法 (ラウンドテーブル・ディスカッション) ・シンポジウム ・パネルディスカッション ・フォーラム、バズセッション 4) 健康教育における教育技術 ・仲間集団討議 (ピアグループ・ディスカッション) ファシリテーターの役割 ・講義・講演法 ・体験・参加型教育	講義	
3 (5月)	2	健康教育技術 (演習)	1) 学級活動の企画・運営・評価 (1) 健康教育のプロセス (2) 保健指導技術 (演習)	講義 GW	②
4 (6月)	2		①健康ニーズの把握と対象のアセスメント ②教育目標の設定、企画書作成の実際		

5 (7月)	2	健康教育技術 演習	(3) 指導案の作成 (4) 実施と評価 計画：組織図、役割と責任、評価計画 ヒト、モノ、カネ、時間、場所の計画 評価：プロセス評価、成果効果 <企画検討会> ・中高生への性教育講座 「赤ちゃん講座」	講義 GW	②
6 (8月)	2		<企画検討会> ・妊婦と家族への出産前準備教室 「ファミリー教室」		
7 (9月)	3		3) 訪問指導技術 (演習) ・家庭訪問	演習	③
8	2				
9	2	女性のライフ サイクルにお ける性と生殖 に関する健康 問題と援助	1) 思春期女性の健康問題とケア 摂食障害、月経異常、性感染症 思春期を対象とした性教育 ピア・カウンセリング	講義	④
10	2				
11	2	カウンセリング の技法	1) 「聴く」ことの基本姿勢 ①カウンセリングの定義 ②カウンセリングの対象と目標	講義	⑤
12	2		2) 治療的なコミュニケーション 望ましい応答・望ましくない応答 (ロールプレイ)		
13	2		3) カウンセリングの基本 ①ノンバーバルコミュニケーション ②ネガティブ・メッセージの伝え方 ③アサーティブとネゴシエーション ④カウンセリングの「枠」：時間、料金、 部屋 ⑤治療的距離	講義	
14	2		4) カウンセリング技法 ①明瞭化、要約、探索、反映 ②自己開示 ③ピア・カウンセリング ④グループワーク	講義	
15	1	終講試験 (45分)		試験	①
授業形態	講義、演習				
評価方法 点数配分	筆記試験 75点 (講師① 25点、講師③10点、講師④ 10点、講師⑤ 30点) 企画書 25点 (講師②) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。				
テキスト	講師①～⑤ ・助産学講座5 講師④ ・助産師による思春期の健康教育				
参考図書等	・助産師基礎教育テキスト2				
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。				